

経済指標解説

2014年4月11日

主要な経済指標の発表予定と予測

(4/14~4/18)

経済調査部 エコノミスト
 千野珠衣
 03-3591-1294
 tamai.chino@mizuho-ri.co.jp

【来週の注目材料】※ () 内はみずほ総研予想

- 16日 : 黒田日銀総裁挨拶 (第89回信託大会)、2月の設備稼働率
- 17日 : 3月の消費動向調査
: 内閣府月例経済報告 (4月)
- 18日 : 2月の第3次産業活動指数 (前月比+0.4%、前年比+1.2%)

5カ月ぶりの経常黒字

8日に発表された2月の経常収支 (原数値) は+6,127億円と5カ月ぶりに黒字になった (季節調整値では414億円の赤字)。貿易赤字が1年6カ月ぶりに前年から縮小したことが寄与した。1月まで高水準が続いてきた鉱物性燃料の輸入増が一服したほか、輸出も持ち直している。第一次所得収支は、円安により小幅ながら黒字幅が拡大した。

機械受注 (船舶・電力を除く民需) は、2カ月ぶりに減少

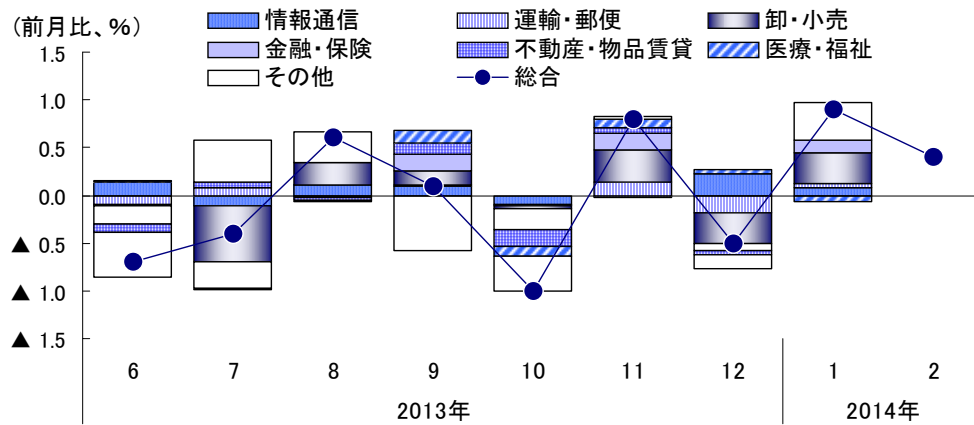
10日に発表された2月の機械受注 (船舶・電力を除く民需) は、前月比▲8.8%と2カ月ぶりに減少した。消費増税後の経済情勢に対する警戒感から、企業が一時的に投資を手控えている可能性がある。なお、SNAベースの設備投資は、昨年末まで機械受注の増加が続いていたため、2014年1~3月期はプラスを維持するとみられる。

来週は第3次産業活動指数などが発表される。

第3次産業活動指数は2カ月連続で上昇

18日に発表される2月の第3次産業活動指数は、前月比+0.4% (1月同+0.9%) と予測する。消費増税前の駆け込み需要に伴う物流増が卸売業の活動指数を押し上げたことに加え、2月上旬の気温低下の影響で家計の電気使用量が増加したことなどから、第3次産業活動指数は2カ月連続で前月比プラスとなる見込み。

図表 第3次産業活動指数



(注) 季節調整値。2014年2月は、みずほ総合研究所予測値。
 (資料) 経済産業省「第3次産業活動指数」

執筆担当～ 千野珠衣

予測担当～ 第3次産業活動指数：坂中弥生

米国主要経済指標（ダイアリー掲載分）：山崎亮

●当レポートは情報提供のみを目的として作成されたものであり、商品の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。

【 来週のダイアリー 】

日付	経済指標等		予想	前回	前々回	
4/11(金)	米	ミシガン大消費者信頼感指数(4月速報)	[81.5]	80.0	81.6	
		生産者物価指数(3月) [食品・エネルギーを除く]	前月比 前月比	+0.1% +0.2%	▲0.1% ▲0.2%	+0.2% +0.2%
	G20(20か国財務大臣・中央銀行総裁会議、ワシントンD.C.)					
4/14(月)	米	小売売上高(3月)	前月比	[+1.0%]	+0.3%	▲0.6%
4/15(火)	日	5年利付国債入札				
	米	消費者物価指数(3月) [食品・エネルギーを除く]	前月比 前月比	[+0.2%] [+0.1%]	+0.1% +0.1%	+0.1% +0.1%
		ニューヨーク連銀製造業業況指数(4月)		[+7.0]	+5.6	+4.5
	イエレンFRB議長講演(ジョージア州)					
4/16(水)	日	設備稼働率(2月)		N.A.	107.3	101.3
		黒田日銀総裁挨拶(第89回信託大会)				
	中	鉱工業生産(3月)	前年比	+9.0%	1月・2月 +8.6%	12月 +9.7%
		実質GDP(1~3月期)	前年比	+7.3%	10~12月期 +7.7%	7~9月期 +7.8%
	米	鉱工業生産指数(3月)	前月比	[+0.1%]	+0.6%	▲0.2%
		設備稼働率(3月)		78.8%	78.4%	78.1%
		住宅着工件数(3月)	年率	[100.0万件]	90.7万件	90.9万件
		住宅着工許可件数(3月)	年率	[100.0万件]	101.4万件	94.5万件
ベージュブック(地区連銀経済報告)						
イエレンFRB議長講演(ニューヨーク)						
4/17(木)	日	20年利付国債入札				
		消費動向調査(3月)	消費者態度指数	N.A.	38.3	40.5
		内閣府月例経済報告(4月)				
	米	フィラデルフィア連銀製造業業況指数(4月)		[+10.0]	+9.0	▲6.3
失業保険新規申請件数(~4/12)			[319千人]	300千人	332千人	
4/18(金)	日	第3次産業活動指数(2月)	前月比	[+0.4%]	+0.9%	▲0.5%
	米	グッドフライデー(米国休場)				

予想：[]はみずほ総合研究所予想、それ以外はコンセンサス(Bloomberg等)。予定は変更になる可能性があります。
日：日本、米：米国、欧：欧州、英：英国、独：ドイツ、中：中国、韓：韓国、印：インド、尼：インドネシア、
泰：タイ、比：フィリピン、伯：ブラジル、馬：マレーシア